

文部科学省委託事業

**「教科等の本質的な学びを踏まえた
アクティブ・ラーニングの視点からの
学習方法・指導方法の改善のための
実践研究」**



令和元年8月5日(月) 京都大学百周年時計台記念館
佐賀大学教育学部 附属小・附属中学校

各教科等における「主体的・対話的で深い学び」を行う児童・生徒の姿とは



拠点校としての具体的な取組内容

- 1) 主体的・対話的で深い学びを行う具体的な児童・生徒の姿を設定し、その姿を追うことを通して学習・指導方法の在り方を明らかにする。
- 2) 小中9年間で育成を目指す資質・能力(各教科等, 汎用的)を設定し、各発達段階で身に付けるべき力やそれに応じた学習・指導方法を整理し、教育課程を改善する。

「具体的な学びの姿」の設定

5 本校算数科の捉える3つの学びの姿

	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
教科全体	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に向けて自分なりの考えをもち、粘り強く取り組み、その過程を振り返ることを通して、数学的に解決すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的な表現を用いて、根拠を明らかにして、互いの情報を受け止め合い、よりよい考えについて話し合 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決で得られた数理で、現実や数学の事象を解釈することを通して、自己の変容に気付き、問いを更新し続けようとしている。
本単元	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ中で、現し、児童相互のやりとりの中で学びを自覚し、算数的な面白さを実感している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ中で、児童相互のやり取りの中で価値づけたりする中で、考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ中で、児童相互のやり取りの中で価値づけたりする中で、考えを深めている。

具体的な姿及び資質・能力を 意識した授業づくり

6 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解すること。 ・簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、かけ算九九の表の中から成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算の工夫ができること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・九九の表の読み取りを進んで行い、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付きその後の学習に活用うとする態度を養うこと。

「課題解決的な学習過程」モデルの設定

小学校「授業の流れ」

- 1 問いを見いだして、問いに対して情報を収集する。
- 2 収集した情報を既習の知識と結び付け、自分の出発点となる考えを創る。
- 3 自分や他者の考えを比較し、関連付ける。
- 4 複数の考えを統合し、よりよい解や知識、モデルを発見、構成する。
- 5 よりよい解や知識を適用し、次の問いや仮説等を見つける。

中学校「課題解決の学習過程モデル」

- 1 めあてをもつ
- 2 学習の見通しをもつ
- 3 必要な知識・技能を身に付ける
- 4 共同・協働的な学びを行う
- 5 見直し・修正を図る
- 6 振り返る

「課題解決的な学習過程」モデルの設定

課題解決の学習過程					
導入		展開			展望
動機づけ	方向づけ	内化	外化	批評	統制
めあてをもつ	学習の見通しをもつ	必要な知識・技能を身に付ける	協同的な学びを行う	見直し・修正を図る	振り返る
<p>単元または本時において、「学ぶ内容」・「学ぶ方」・「身に付けたい資質・能力」を生徒と教師の双方が共有するもの</p>	<p>めあてを受けて、課題解決に向けた手順・形態・時間等の計画をもつこと</p>	<p>課題解決に必要な知識や技能の習得を図ること</p>	<p>習得した知識や技能を互いに適用させて、課題解決を試みること</p>	<p>共同・協働的な学びを踏まえて、自分の意見や作品、技術等のパフォーマンスをよりよく修正すること</p>	<p>「単元の目標」または「めあて」を基に、自分自身の学びや学び方をメタ認知し、次への学びや自己調整につなげていくこと</p>

学びの姿をみるシート(中学校例)

学びの姿をみるシート

月日	月 日 ()	学年	2年 3組	授業者	教師 森田 梓
教科	社会科 (歴史的分野)	単元名	近代国家の形成と国際社会	本時者	

本校〇〇科の統一的「市民としての倫理・能力」の育成に係る見方・考え方を
 提示する社会科課程の改訂・改訂する意義等として、社会科課程の各単元との関わりや単元の構成、各単元の意義や立
 場に着目して記述する。割合や単元の位置関係は記載しなくてもよいが、自分の考えを明確に記述すること。

本単元における「主体的・対話的で深い学び」の姿と働きがたい見方・考え方を
 働きがたい見方・考え方:「人権尊重」、「民主主義」

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
・本単元の学習内容(人権尊重の精神や 民主主義の思想の歴史)の意義や意義 を理解し、教師の問いかけや問いかけに 応じて、自分の考えを表現している。 ・授業の中で自分の考えを表現する意 義をもち、主体的に学習に取り組んで いる。	・自分の考え、他者の考え(人権尊 重の精神や民主主義の思想)が本単元の 意義や意義である。自分の考えから他 者の考えや他者の考えを聞き取り、自 己の考えを修正している。 ・自分の考えに人権尊重や民主主義、 民主主義の意義や意義から自分の考えを 修正し、他者の考えと比較している。	・近代国家の形成や近代国家の精神に 関する人権尊重の精神や民主主義の思 想の意義や意義を、当時のヨーロッパ の様子や歴史から理解している。 ・「人権が尊重される社会」「民主主義 社会」の意義や意義を、現在の社会の 状況や自分の考えを関連させている。

―記入にあたって―
 ○ 本時の授業を見ながら、詳細の欄に以下の4つから適切な記述を1つだけ記入ください。
 【 ① よく見られた、 ② 見られた、 ③ あまり見られたかった、 ④ 見られたかった 】
 得意に感じる態の記述がなければ、詳細を記入してください。
 ○ 詳細の授業として、見たい授業・生徒の様子などの状況を記入してください。

Ⅰ「主体的な学び」に関して

生徒の姿	評価	具体的な場面・様子
【各教科共通・單元における姿】 歴史のテーマの学びのイ ンパクトや意義を捉え、自分の考えを表現し、教師の問いかけに 応じて、自分の考えを表現している。自分の考えを表現する意 義をもち、主体的に学習に取り組んでいる。		
【本時の生徒の姿】 現在の社会における歴史に対して、 人権が尊重される国の形成や意義としてその在り方を考え、 発言や記述をしている。		

Ⅱ「対話的な学び」に関して

生徒の姿	評価	具体的な場面・様子
【各教科共通・單元における姿】 本単元の意義、歴史の意 義や意義との関わりの中で、自分の考えや他者の考えから やすく聞き取りや自分の考えを聞き取り、自分の考えを修正 している。自分の考えや他者の考えを聞き取り、自分の 考えを修正している。		
【本時の生徒の姿】 歴史に対する理解を深め、自分の 本単元の在り方、人権尊重や民主主義等の意義から歴史を 理解している。		

Ⅲ「深い学び」に関して

生徒の姿	評価	具体的な場面・様子
【各教科共通・單元における姿】 見方・考え方を深めたい が、以前に学習した内容(他教科も含めて)と関連付けて 学習内容をより理解したり、自分の考えを関連させて 理解したりしている。		
【本時の生徒の姿】 歴史に対して、自分が重視する点(例 として「人権尊重」と他者の考えと比較したり、人権を尊重する 国家と他国との違いを具体的に考えたりしている。		

単元 及び 本時 で
期待した

「主体的な学び」
 「対話的な学び」
 「深い学び」
 の姿を見取る

単元で働かせたい見方・考え方も含めて
期待する具体的な生徒の姿を記述

本時に期待する具体的な生徒の姿を
記述

学びの姿をみるシート(小学校例)

I 主体的な学びであったか

	項目	A	B	C	D	平均	授業者
1	児童が、自分事として学んでいたか。	8	3	0	0	3.73	4
2	児童が活動に意味を見だし、自ら進んで取り組んでいたか。	9	2	0	0	3.82	4
3	授業中、自分もつ知識を使って問題解決に向かっていたか。	9	2	0	0	3.82	4

コメント

3.79

- ・九九を使って問題が解けることに気づき、考える姿がよく見られた。他の児童に聞いたりするなど積極的に学ぶ姿がよく見られた。
- ・アとエの図から分かった特徴を用いて、他の図から気づける特徴を探そうとしていた。
- ・□に入る数について、何があてはまるか、またその理由について「なんとなく」で終わらないよう、並行して気づけかたがた九九の垂注を用いて説明できるように努めていた。

「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を評価する尺度を検討する

- ・丸の表を見て、○の段と書いている丸里がいた。
- ・既習内容をいかして問題解決に取り組んでいた。

生徒振り返りシート(中学校例)

+	項目+
I +	<p>【共通項目】自分事としての課題設定+</p> <p>単元の目標(ゴールの姿のイメージ)や活動の見通しをもって粘り強く学習に臨み、毎時のめあてを達成することができましたか。+</p>
II +	<p>【共通項目】協働性+</p> <p>単元を通して、自分の考えを相手に分かりやすく説明したり友達や先生と話し合う中で様々な見方や考え方に気付いたりすることができましたか。+</p>
III +	<p>【共通項目】習得・活用+</p> <p>以前に学習した内容(B-Timeに学んだ20要素や他教科も含めて)と関連付けながら、単元の内容をより理解することができましたか。+</p>
IV +	<p>【共通項目】課題や展望+</p> <p>今回の単元の学びや学び方を振り返って、課題に対する自分の考えや新たな疑問、次の課題(考えたいことや、取り組みたいこと)をもてましたか。+</p>

「主体的・対話的で深い学び」を行う生徒の姿を、4つの項目に整理

中3:保健体育(体育理論)における生徒の振り返りの例

単元を貫く問い「文化としてのスポーツの意義とは何か」
(豊かな生活を送るためにスポーツとどのように関わればよいか)

学びの自覚 学びの展望



「する」が健康増進にもつながる一番いい方法だと思っていたが、意見交換で好きなスポーツを「みる」ことで元気が出る人がいた。

「する」以外の具体的な関わりを聞いて、いろいろな考え方があって面白いと思った。視野を広げてスポーツと生活の関係を知りたいと思った。

小中9年間の学びの資質・能力デザイン

3 発達段階によるレベル分け

ステージ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
V 中学2年～中学3年				
IV 小学6年～中学1年				
III 小学4年～小学5年				
II 小学2年～小学3年				
I 小学1年				

4 期待する児童・生徒の姿

柱	レベル1	レベル2	レベル3
学びに向かう力、人間性等	身の回りにおける具体的な課題に興味や関心をもち、数学的な課題として捉え、課題を正確に把握し解決しようとしている。	身の回りにおける数学的な課題に興味や関心をもち、課題を学術的に捉え考えようとしている。	日常生活における数学的な課題の解決過程や解決後に、新たな疑問や課題が生まれ、課題を更に深く考えたり発見的・応用的に考えたりしようとしている。
思考力・判断力・表現力等	ことばや数・式・図・具体物などを用いて、自分が思ったことや気づいたことを自分なりの方法で、表している。また、主に教師との対話の内容を理解している。	ことばや式・図・表などを用いて、自分の考えを自分なりの方法で、相手に伝えている。また、他の人の考え方を理解している。	ことばや式・図・表・グラフなどを用いて、自分の考えを自分なりの方法で、相手に分かりやすく伝えている。また、他の人の考え方を共感的に関いたり、お互いの考えを関連づけたりしている。
	ものごとに対して、自分が思ったことや気づいたことを表現している。	ものごとに対して、自分の考えをもっている。また、他の人の考え方を参考にして、別の方法を考えている。	見通しを持ち、根拠をもって、自分の考えをもっている。また、課題を様々な方法で解決している。

授業の児童・生徒の学びの姿から、どのような資質・能力をいつまでに身に付けさせるかレベル化

育成を目指す汎用的な資質・能力

思考力・判断力・表現力等
学びに向かう力・人間性等

- ◇ **目的に応じたよりよい考えを見出すために、観点を基に比較したり関連付けたりするなど情報を操作する力**
⇒ 個人で意見を構築したり、協議を目的とした話し合いをしたりする際に必要となる力。また、討議を目的とした話し合いの際も、論点を明らかにするうえで必要となる力。
- ◇ **課題をよりよく解決するために、話し合う目的や方法、条件等を理解した上でコミュニケーションを図る力**
⇒ 「主体的・対話的で深い学び」の「対話的」に関わる力。何のために話し合うのかを、参加者全員が理解した上で行う必要があるところから必要となる力。共同・協働するためにも必要となる力。
- ◇ **互いの考えをよりよく伝え合うために、目的に応じて説明する力**
⇒ 話し合い（班での意見交換・ディベート等）の場面で、個人の意見を的確に他者に伝える力。話し合う際の材料となる個人の意見を、他者に確実に伝える力でもある。また、話し合いが進展する中で、他者の意見を材料に、さらなる個人の意見を的確に伝える力。
- ◇ **積極的に人や社会と関わり、自らの生活や生き方をよりよくしていこうとする態度**
⇒ 「社会に開かれた教育課程」の実現も踏まえ、教科の特性に応じて人や社会との接点を見出しながら、よりよい未来社会・個人の成長を願おうとする態度。
- ◇ **粘り強く探究し、課題解決を図ろうとする態度**
⇒ 次世代リーダーとしてよりよい未来社会・個人の成長を願い、他者と共同・協働しながらよりよい解決策を試行錯誤を経て見出そうとする態度。
- ◇ **課題を見出し解決に向かうとともに、新たな課題をさらに見出す力**
⇒ 課題を見出すところから学び始め、その一応の解決を見て学び終わる。そして、その学びの途中や終わりで見出したさらなる課題を、継続して解決していこうとする力。

中学校「言語の20要素」の設定

要素名	分類	要素名	分類
① 説明する	言語運用	⑪ 情報の吟味をする	言語操作
② 話し合う	言語運用	⑫ 引用する	言語操作
③ 図解表現する	言語操作	⑬ 要約する	言語操作
④ 報告する	言語運用	⑭ 記録する	言語操作
⑤ 企画する	言語運用	⑮ 比較する	思考操作
⑥ 対話する	言語運用	⑯ 多面的に見る・多角的に見る	思考操作
⑦ 資料を作る	言語操作	⑰ 分類する	思考操作
⑧ 共感的に聞く・批判的に聞く	言語操作	⑱ 推論する	思考操作
⑨ 要点を聞く	言語操作	⑲ 関連付ける・構造化する	思考操作
⑩ 振り返りをする	言語操作	⑳ 具体化する・抽象化する	思考操作

各教科で小中9年間の系統立て

<p>思考力・判断 力・表現力等⁴</p>	<p>ことばや数・式・図・具 体物などを用いて、自分 が思ったことや気づい たことを自分なりの方 法で、表している。また、 主に教師との対話の内 容を理解している。⁴</p>	<p>ことばや式・図・表など を用いて、自分の考えを 自分なりの方法で、相手 に伝えている。また、他 の人の考え方を理解し ている。⁴</p>	<p>ことばや式・図・表・グ ラフなどを用いて、自分 の考えを自分なりの方 法で、相手に分かりやす く伝えている。また、他 の人の考えを共感的に 聞いたり、<u>お互いの考え を関連づけたりしてい る。</u>⁴</p>	<p>数学に関する用語の意 味や概念などを正しく 理解し、ことばや式・図・ 表・グラフ・資料などを 適切に用いながら自分 の考えを相手に論理的 に説明している。また、 他の人の考え方を理解 し、<u>自分の考えを広げたり 、つなげたりしてい る。</u>⁴</p>
<p>ものごとに対して、自分 が思ったことや気づい たことを表現している。⁴</p>	<p>ものごとに対して、自分 の考えをもっている。ま た、<u>他の人の考え方を参 考にして、別の方法を考 えている。</u>⁴</p>	<p>見通しを持ち、根拠をもっ て、自分の考えをもっ ている。⁴ また、<u>課題を様々な方 法で解決している。</u>⁴</p>	<p>見通しをもち、根拠を明 らかにしながら筋道を 立てて論理的に考えて いる。また、課題を多面 的にみて考え、解決して いる。⁴</p>	

いきかた部会 ～児童生徒の姿の接続～

さが✿ひな市にて復興支援の物品販売及びバザー取組



参加する前は「めんどくさそう」と思っていたけれど、参加してみて、自分が誰かの役に立っているという充実感やチームワークを全力で発揮することができました。来年も参加したいです。

ひな市を振り返ってみて、商品を売ることがこんなにも楽しく大変なものかと思いました。また、ボランティアを通して、人の優しさをじかに感じることができ、活動に参加して、本当に良かったです。みんなが大声を出してたくさん歩き回り、足も痛くなったけど、それ以上に、完売したときの喜びが凄すぎて、仲間と飛び上がりました。



小5・小6・中1対象アンケート

学びを見つけるシート

年 組 番 名 前 ()

口あなたにどれくらい当てはまりますか。例のように、当てはまるものを1つずつ選びましょう。

例: 4:当てはまる 3: 2: 1: 当てはまる 当てはまる 当てはまる

【主体的な学び】

(1) 授業で新たな問題や課題に出会ったとき、それを解決してみたいと思う。

4 3 2 1

(2) 授業では、問題や課題の解決に向けて、自分で考え、見通しをもって自分から取り組んでいる。

4 3 2 1

(3) 授業の終わりで、めあてが達成できたかどうかや、もっと調べてみたいことがないか振り返っている。

4 3 2 1

【対協的な学び】

(4) 授業の中で、自分の考えやその理由を相手に伝えようとしていたり、相手の考えやその理由を聞いている。

4 3 2 1

(5) 自分の考えを発表するとき、相手に分かるようにくわしくしている。

4 3 2 1

(6) 授業の中で、いろいろな考えが出たとき、考えのよさやちがいを気づいている。

4 3 2 1

【深い学び】

(7) 授業で、問題や課題に対して納得できるまで考えたり、調べたりしている。

4 3 2 1

(8) 授業で、問題や課題に対して自分の考えがもたらしたとき、友達の考えを参考にしたり、自分の考えに対する答えとして本当に正しいものかどうかを考えたりしている。

4 3 2 1

(9) 授業の終わりで、授業の始まるのと比べて、問題や課題に対する自分の考えの根拠や理由がよりくわしく説明ができるようになったりしている。

4 3 2 1

【日常生活】

(10) 授業で学習したことを家庭の生活の中で活用している。

4 3 2 1

【主体的な学び】

(1) 授業で新たな問題や課題に出会ったとき、それを解決してみたいと思う。

4 3 2 1

(2) 授業では、問題や課題の解決に向けて、自分で考え、見通しをもって自分から取り組んでいる。

4 3 2 1

(3) 授業の終わりで、めあてが達成できたかどうかや、もっと調べてみたいことがないか振り返っている。

4 3 2 1

児童生徒の具体的な学びの姿と併せ検証

成果

- ① 児童・生徒の「主体的な学び」「対話的な学び」を評価する簡便な尺度の開発
- ② 授業及びカリキュラムの改善